

第71回「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式

7/1 [Thu]



▲「社会を明るくする運動」推進のため、保護司のみなさんと伝達式でメッセージを共有しました

犯罪や非行の防止、更生を考える「社会を明るくする運動」の伝達式を多久市役所で行いました。

式では、菅義偉内閣総理大臣のメッセージを佐賀保護観察所の稲田美津代所長から横尾俊彦市長へ、山口祥義佐賀県知事のメッセージを多久市更生保護女性会の中島慶子会長から小城・多久地区保護司会の倉富博美支部長へ、横尾市長からのメッセージを保護司会のみなさんに伝達しました。

伝達式で横尾市長は「みなさんのご支援が犯罪や非行を犯した人たちの立ち直りを促し、安心安全な地域社会の実現へとつながる。これからもお力添えをお願いしたい」と期待を込めて話しました。

第一生命保険と包括連携協定を締結

7/7 [Wed]

第一生命保険株式会社と多久市は、相互に連携・協働し、地域社会の発展と市民サービスのさらなる向上を目的に、包括連携協定を結びました。

協定では、万一に備え、自分の資産や葬式のことを記す「絆ノート」の提供や健康増進、高齢者支援など、幅広く連携することを規定。第一生命保険株式会社の宮崎典之佐賀支社長は「この連携をとおして、全国のネットワークを生かし、真の意味で一生のパートナーとなれるよう尽力したい」と抱負を話され、横尾俊彦市長は「今後とも豊富な知見でお力添えをいただき、協力し合って市民のみなさんのより良い暮らしを育んでいきたい」と話しました。



▲多久市役所で協定を結んだ宮崎支社長（右）と横尾市長（左）

YouTube で動画が見えます！

KBCと防災パートナーシップ協定を締結



7/12 [Mon]



▲協定書を持った和氣代表取締役社長（右から4人目）と横尾市長（右から5人目）

九州朝日放送株式会社（KBC、本社：福岡県）と多久市は、災害時の情報発信により市民のみなさんの命を守ることと、日頃の防災意識をさらに高めるため、防災に関するパートナーシップ協定を多久市役所で締結しました。

協定によって、災害や防災に関する緊急の情報発信が必要な際、多久市からKBCへ放送の依頼が可能に。また、KBCが持つ災害映像の提供や防災に関する出前授業も依頼できます。

KBCの和氣靖代表取締役社長は「この協定をスタートとして、多久市のみなさんへ平時・災害時ともに役に立つ情報を的確にお届けし、災害の被害を最小限にする助けになりたい」と話され、横尾俊彦市長は「このご縁を生かし、必要な情報をいち早く市民のみなさんに伝えていく」と話しました。